

9月24日

世界ゴリラの日 World Gorilla Day



9月24日は世界ゴリラの日。

絶滅の危機にある野生のゴリラの保護と、彼らの生息地である森林などの自然を守ることを目的に制定されました。

マウンテンゴリラの研究と保護を行ってきたアメリカ人霊長類学者、ダイアン・フォッシー氏の研究センター創立50周年の2017年に制定されました。



東山動植物園
Higashiyama
ZOO & BOTANICAL
GARDENS

種類と分布



ゴリラ属はニシゴリラとヒガシゴリラに分かれます。東山動植物園にいるのはニシゴリラ。アフリカの熱帯雨林に生息しています。

ニシゴリラ

クロスリバーゴリラ

ニシローランドゴリラ

※東山のゴリラ



ニシゴリラ
がすむ森

ヒガシゴリラ

マウンテンゴリラ

ヒガシローランドゴリラ

ヒガシゴリラ
がすむ森

ゴリラたちの生息地はもともと人が寄り付かない原生林。このゴリラの暮らす森が次々と消滅しています。そこには私たちの生活にも欠かせないあるものが関係しているのです。

IUCN
国際自然保護連合
レッドリスト



LC

NT

VU

EN

CR

EW

EX

深刻な危機

低懸念 準絶滅危惧種 危急 危機

野生絶滅 絶滅

野生ゴリラの減少理由

ゴリラの生息地であるコンゴではレアメタルの一種であるコバルトやタンタルが採掘されます。野生のゴリラが減少している一因はこれらの鉱物採掘です。

鉱物採掘する上でゴリラたちが住む森林が伐採されます。また、「伐採の邪魔になるから。」との理由で殺されたり、鉱物採掘従事者の食料（ブッシュミート）として殺されています。

森林に運搬などに使う道が整備されることで、容易に森の奥地へ行けるようになり、ヒト由来の病気に感染するゴリラも発生していると言われています。

鉱物採掘の報酬は高額です。さらに、このような利権が発生することでヒト同士による争いに繋がり、ゴリラ生息国の政情不安（内戦）に発展し、ゴリラの保護活動の障害となっています。



採掘の様子



採掘されたレアメタル



写真提供：NGO 法人テラルネッサンス

ゴリラとレアメタル

先に記したコバルトは7割がコンゴ民主共和国で採取され、ゴリラは大きな影響を受けています。

また、タンタルという鉱物は携帯電話やノートパソコンの小型コンデンサーの材料として使われており、この鉱物によってデバイスの小型化が可能になっています。主な産出国はコンゴ民主共和国、ルワンダで、世界生産量の7割をアフリカ諸国が占めています。



私たちができる身近な取り組み

レアメタルをリサイクルすれば、新たな採掘を減らせる！



東山動植物園

使い終わったスマートフォンやタブレット端末、カメラやゲーム機は、区役所や総合スーパーなどにある小型家電回収ボックスへ。家電量販店などでも小型家電の回収をしているよ！



携帯電話などを回収し、それで得た収入をレアメタル産出国に寄付しようとする活動もあります。



詳しくは名古屋市公式ウェブサイトを確認してください。小型家電のリサイクルのページ→



東山動物園のゴリラたち

オキ
1956-2010
♀

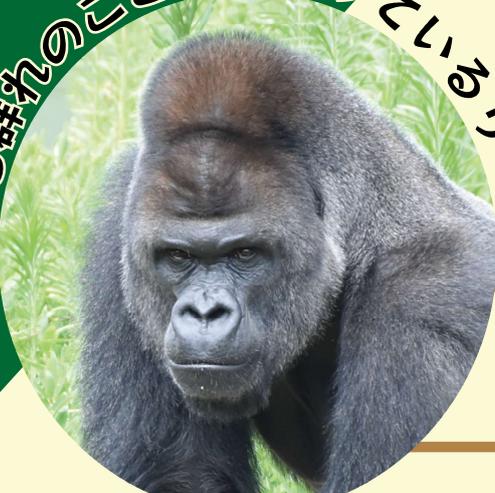
リッキー
1972-2003
♂

国内最年長!キヨマサが心配なお母ちゃん



ネネ ♀
1972-

いつも群れのことを見守っているリーダー



シャパーニ ♂
1996-

賢く根気よく、くいしん坊



アイ ♀
2003-

遊びのレポーターが大好き!



キヨマサ ♂
2012-

人に興味深々!おてんばも魅力



アニー ♀
2013-

